



# 天文台だより

銀河の森天文台  
2012 冬号  
Vol.54

## 2011年12月10日、皆既月食を観測！



月食によって浮かび上がる地球の影

インターネットライブ中継を延べ62万人が視聴！

2011年12月10日(土)の夜、太陽-地球-月が一直線に並び、月が地球の影に隠れる「皆既月食」が起き、日本全国で見られました。陸別も良く晴れ、皆既月食を観測することができました。

21時45分頃から月は徐々に欠けていき、皆既月食は23時6分に始まり、23時32分に最大となり、23時58分に終わりました。皆既中の月は前回の2010年と比較すると全体的に明るくオレンジ色で見えました。皆既中は、月明かりが暗くなり、満天の星空と丸い月という幻想的な星空が楽しめました。また、月食の様子をインターネット上でライブ中継を行い、中継サイトには同時に8万人を超える多くの視聴者が集まり、中継終了後には延べ視聴者数は62万人を超えていました。

次回、皆既月食が日本で見られるのは、3年後の2014年10月8日になります。

### 「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

オーロラの季節がやって来ました。地球の大気と衝突してオーロラを光らせる電気の粒は、太陽からやってきます。その太陽の活動度が着実に高まっています。この原稿を書いているときも、黒点数は100に近づき、いよいよ極大期に向かってまっしぐらという状況です。

全国でオーロラに関する講演会やイベントが実施され、私もいくつかに関係しています。そして、2月中旬から3週間は、カナダのイエローナイフに滞在し、毎夕オーロラの予報や解説などを予定です。

高緯度の極寒の地で、全天を舞うブレークアップを浴びる迫力にはかないませんが、太陽活動が一時的に高まって巨大磁気嵐が発生すれば、ここ陸別でもオーロラを見ることができます。別称「オーロラの街」の当天文台を訪れ、オーロラから地球人へのメッセージを感じてください。



(上出洋介館長)

## 南極昭和基地との 交信イベントを開催！

2011年9月10日(土)、2011年2月に協力協定を結んだ国立極地研究所の協力で、南極昭和基地と陸別をインターネット回線で結び交信イベントを開催しました。

交信前には第50次南極観測隊長の門倉昭先生(極地研准教授)の講演会があり、半世紀を超える日本の南極観測の歴史などについてお話しを聞くことができました。

南極昭和基地との交信では、第52次隊の宮本隊長はじめ、名古屋大学太陽地球環境研究所研究員磯野隊員など、たくさんの隊員の方が登場しました。隊員からは南極や昭和基地の紹介やクイズがあり、質問タイムでは、陸



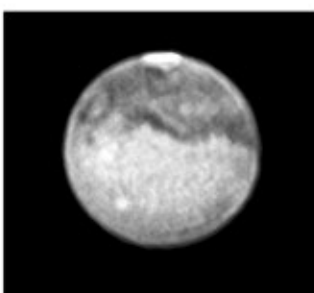
別小学校児童や一般の方からの質問がたくさんありました。お互いの顔が見える双方向交信ならではの隊員と質問者とのやりとりで、笑いあり、ハプニングあり、会場は大変盛り上がりしました。

## 暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
1月 1日	6:54	16:03	7.4	10:35	---
1月 15日	6:51	16:17	21.4	23:10	9:41
2月 1日	6:38	16:39	8.8	10:34	0:55
2月 15日	6:21	16:58	22.8	0:37	10:14
3月 1日	5:58	17:17	8.2	9:53	0:36
3月 15日	5:34	17:35	22.2	0:37	10:02

## 3月に火星が見頃を迎えます！



2012年は3月初旬から火星がしし座で見頃を迎えます。火星は2年2ヵ月ごとに地球に接近しますが、今回最接近するのは3月6日です。この時期は火星が明るく大きく見え、その模様を望遠鏡で観察するチャンスです。

# 天文行事&暦

1月

- 12/30-1/5 天文台休館日
- 4 しぶんぎ座流星群が極大  
(PM4時 最大25個/時)
- 6 小寒(24節気:太陽黄経285°)
- 9 ○満月
- 21 大寒(24節気:太陽黄経300°)
- 23 ●新月

2月

- 4 立春(24節気:太陽黄経315°)
- 8 ○満月
- 19 雨水(24節気:太陽黄経330°)
- 22 ●新月
- 29-3/11 火星観望会

3月

- 2/29-3/11 火星観望会
- 5 火星が衝  
(光度:-1.2等, 視直径:13" .9)  
啓蟄(24節気:太陽黄経345°)
- 水星が東方最大離角  
(光度:-0.4等, 離角:18° 12')
- 6 AM2時 火星の最接近
- 8 ○満月
- 20 春分(24節気:太陽黄経0°)
- 22 ●新月
- 27 金星が東方最大離角  
(光度:-4.4等, 離角:46° 02')

## 冬のイベント情報!!

### ☆火星観望会

今年火星が3月5日に衝を迎え、3月6日に最接近します。火星が接近するのは、2年2ヵ月ぶりです。

開催日時: 2月29日(水)~3月11日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

### プラネタリウム新番組上映中!

2011年12月に完成した新番組「SNOWFLAKE~雪は天からの手紙~」を上映中です。陸別の風景も番組中に登場します。ぜひ、ご来館下さい。

番組名: 「SNOWFLAKE~雪は天からの手紙~」

内容: 雪の科学・結晶のできる様子を学習・体験します。

上映日: 開館日の土曜・日曜・祝日

上映時間: 午後3時、5時、8時の3回(1回30分)

定員: 各回20名(整理券配布、入館料のみ)

※陸別町民はいつでも無料です

### 2012年太陽系天体みどころカレンダー

○: 満月 ●: 新月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月	○ 9 ● 23	○ 8 ● 22	○ 8 ● 22	○ 7 ● 21	○ 6 ● 21	○ 4 ● 20	○ 4 ● 19	○ 2.31 ● 18	○ 30 ● 16	○ 30 ● 15	○ 28 ● 14	○ 28 ● 13
火星												
水星												
木星												
金星												
土星												
日	★晴れた日は毎日、太陽望遠鏡によって太陽の様子を見ることができます。 ★5月21日は金環日食(陸別では部分日食)が起こる。											

太陽系天体のうち、天文台開館時間中に肉眼で見られる天体の見頃の時期をまとめました。黒線の期間内が見頃の時期になります。今年5月21日に金環日食が起こり、陸別では部分日食として見られます。また、6月4日には部分日食が起こります。今年も空を眺めましょう!

### 「発見! 銀河の森」 - えぞたぬき -

夜、天文台の仕事を終えて街へ降りる途中、時折たぬきを見かけることができました。丸々とした黒っぽい毛並みで、のそのそと歩く感じはキツネとはまた違う感じです。森の中には溜め糞と呼ばれる複数のたぬきが繰り返しそこで用を足した糞の固まりを見かけることもあります。

カラマツの黄葉も散った晩秋の夜、雨がやんだ後はどういわけかたぬきがとてもよく出没し、天文台から降りてくる道すがら一晩で5匹もたぬきを見かけることもありました。きっとたぬきの家族だったのでしょう。それにしても銀河の森にはいろんな動物が暮らしていますね。(寛)



### 天文台からのお知らせ

☆ 12月30日(金)~1月5日(木)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: [ginga@rikubetsu.jp](mailto:ginga@rikubetsu.jp)